

足立功一氏 国際ロータリー会長代理総評

◆RI2780地区閉会の総評

本大会の総評を申し上げます。

田島敏久ガバナー、令夫人富美子様、朋友ロータリアンの皆様、二日間に渡る地区大会での献身とご奉仕 誠に苦労さまでした。

この総評を申し上げる前に、この二日間の素晴らしい地区大会を拝見し、この大会の大成功を心からお慶び申し上げます。

特に、この地区大会を主宰されました田島ガバナーの卓越した指導力、令夫人富美子様の細やかな気配り、大会を運営されました中島一二大会委員長、ホストクラブ会長青塚淳次様はじめ相模原西RCの皆様、そしてコホストクラブの皆様の完璧な運営と、ガバナーを支え、地区の運営を取り仕切られました大河原幸夫地区幹事、そして皆様の陰で黒子に徹して必死に動かされました地区役員、クラブ会員の皆様には心からの敬意を表しますと共に、厚く御礼を申し上げます。

皆様の献身とご奉仕が無ければ決してこの様な素晴らしい大会は開催できなかったことと思
います。

会場の皆様、田島ガバナー、奥様の富美子様、中島実行委員長はじめ、役員の方々に盛大な拍手をお送りください。ありがとうございます

◆また、大会全ての行事を通して私の同期でございます山地パストガバナー御夫妻には素晴らしいお気遣いをいただきました。詳細なる情報提供とお心のこもった接遇をしていただきました事、衷心より厚く御礼申し上げます。まさにエイドとはこうあるべきと言う事を勉強させていただきました。

◆さて、私はゴードン R マッキナリー会長から、地区大会ではできるだけ多くの会員の皆様に接し、ロータリーの素晴らしさを皆様に伝えて下さい。そして、来年開催されますシンガポールでの国際大会には、是非多くの皆様に参加して下さいとの依頼を受けて参りました。

私はこの二日間、大会の様々な行事に参加し、多くのロータリアンの皆様とお話をする事ができました。そしてこの地区大会は、私が経験しましたこれまでの地区大会の中でも、たいへん有意義で素晴らしい大会であったと思います。

何よりすばらしかったのは、昨日の指導者育成セミナーから本日の本会議と長時間にわたる「ロータリーの研修」に参加し、このように多くの皆様が残って大会を楽しんでいらっしゃる姿を見し、ロータリーとはすばらしいと感じたからであります。
会場の皆様の真摯で誠意あるお姿に心から敬意を表します。

さて、アップルの創業者 スティーブ・ジョブズ氏は、その 1 年前に膵臓癌を発症し、余命いくばくもなかった身でありながらスタンフォード大学の卒業式で感動的な挨拶をいたしました。「私が 17 歳の時、ある人から「毎日これが人生の最後の日と思って生きなさい。やがて、その通りになる日がやってくるから」と言われました。その言葉は私にとって衝撃的でした。それから現在に至るまでの33年間私は毎朝鏡を見て自分に問いかけてきました」「もし今日が自分の人生の最後の日だとしたら、今自分が間もなく死ぬという認識を持つ事は、重大な決断を下す時に一番役に立つと思うのです。今やろうとしている事が私にとって本当にやりたい事なのだろうか？。と」

なぜなら、永遠の希望やプライド、失敗する不安 これらは全て死の前には何の意味もなさないからです。本当に大切な事しか残らない、自分は死ぬのだと思いだす事が敗北する不安にとられない最良の方法です」と彼は言いました。

自分がそう遠くないうちに死ぬと意識しておく事は、彼がこれまで重大な選択をする際の最も重要なツールであったのです。」

私の知る限り何かを失ってしまうかもしれないという思考の落とし穴を避けるための最善の策だったわけであります。 斯く言う私もその一人だからであります。

ジョブズ氏のこの鋭い洞察は、私たちの人生の旅路がいかに予測不能であるかという根本的な真実を思い起こさせてくれます。

人生の紆余曲折を歩むなかで、どちらに駒を進めればいいのかわからなかったり、不確定要素に悩まされたり、明確なロードマップが見えないまま決断を迫られたりすることがあります。その時、

ジョブズ氏は「あなたに与えられた時間は限られているのです。 だから他人の人生を生きってしまうような、無駄な時間を過ごしては余りにもったいない。 ドグマ(定説、常識)にとらわれてはいけません。 それは他人の考えであり、他人の人生を生きているも同然です。

他人の意見という雑音によって、あなたの内面の声をかき消されないようにしなければなりません。最も大切なことは、あなた自身の信念、直観的真理に従う勇気を持つことです。あなたが心の底から願う幸せとは、一体何なのか。

本当は、あなたは気づいているはずですが。 逆に、本当に求めているわけではないことが何なのかも、分かっているはずですが。 それらは、後回しにしても構わないのです。」こう述べました。

2011 年 8 月にジョブズ氏は、CEO を辞任し、同年 10 月に自宅で 56 歳の生涯を閉じました。

ジョブズ氏のこの言葉は、私達に

決して後悔を残してくれるな、との願いであり、
中途半端な人生観で満足するな、の叱咤であり、
優先順位を間違えるな、の激励であります。

私はロータリーに入会し、いままでさまざまな素晴らしい講話を聴き、奉仕活動を実践して行く中で、世の中には私たちよりもっと悲惨な生活を送ってらっしゃる人が大勢いらっしゃることを知りました。そして、その人たちに夢を与えるために実際に自分のお金で活動していらっしゃる方々とじかに触れ合ってきました。

ロータリーの会員の皆様が集めた寄付や資金は、皆様が汗水たらして働いた成果であり、それは一円たりとも無駄にしてはいけないという事は、田島ガバナーも仰ってますし、小澤様の活動を見ても分かります。

私はその素晴らしい行いを勉強させていただいたことに感謝し、そのお方の域まで達したいという願いで、私は昨年 AKS に入会致しました。

この事はロータリーに入らなければ決して分からなかった事です。
そして、人間の幸せとは何だろうか考えた時に、お金持ちになる事やはたまた高学歴を得ることでない事は皆様ご理解できると思います。

人が幸せになるための条件は、ハーバード大学の75年間の研究でその共通点がわかってきました、それは「暖かい人間関係を築くことができるかどうか」であります

ロータリーの出会いは一期一会で始まりますが、奉仕の理想と言う志を一つにする者同士の集まりは、出会った瞬間が素晴らしい人間関係の構築の始まりであり、それをどう育てていくかは各人のお考えによるところです。

そうした交際の中で、私たちロータリアンは自分の人生をしっかり考え、利己では無い、利他の心を持って未来に胸をはって誇れるロータリアンになって欲しいと思います。

田島ガバナーの今年度の活動目標である「若者と希望 MENTAL HEALTH で和の世界を生み出そう」は正に、皆様方が立てるべき「崇高な理想を掲げるロータリアン」への序章であります

今回私は会長代理として当地区を訪問させていただきましたが、私は今、この大会の会長代理にご指名頂きました、ゴードン R・マッキナリーRI会長に心から感謝しております。会長には私の最大の賛辞を添えて、この大会が実に見事な大会であった事をご報告申し上げます。

2780地区ロータリアンの皆様は、この二日間地区大会に積極的に参加し、ロータリーに関する知識を豊富にされました。皆さんの熱意と積極性、惜しみない貢献には本当に頭が下がります。

皆さま方が、ゴードン R・マッキナリーRI会長と田島ガバナーのリーダーシップの下に、様々なロータリー活動を成功させ、この年度が満ち足りたものになる事を私は疑いません。

どうか、クラブの会長 幹事の皆様は、素晴らしいリーダーシップを発揮され、ご自分の年度を輝かしい年度にして下さい。

また、会員の皆様に於かれましては、会長・幹事のリーダーシップの下、クラブ活動を通してロータリーの真(まこと)の心を研鑽して頂きたいと思います。

そろそろお別れする時間となりました。私と妻はこの地区でロータリーの暖かな友情と人の心の誠意を見る事ができました。

そして、皆様方の御もてなしのお陰で、私たち夫婦は当地区のロータリアン家族の一員のように感じました。この2日間、皆様と過ごした私は、この2780地区が本当に素晴らしい地区であると確信いたしました。

この地区大会に参加し、私たちは2023年度のテーマである「世界に希望を生み出そう」を理解し、ポリオ撲滅そしてクラブの変革を通して、私たちが新たなる世紀に向けてその計画や目標を現実のものにする決意を新たに致しました。

どうか6月までに素晴らしい実績が残りますことを期待しております。

シンガポールの国際大会でお会いしましょう。 ありがとうございます。

足立功一(釧路北ロータリークラブ)

RI2500地区(北海道東部) 2008～09年度 PDG